

働く、輝く、世田谷区!

2019-2020 冬号

いそだ久美子

働く母親生活、8年の下積みを経て2019年4月に区議に初当選。皆様に支えられ、目指していた区政の仕事に取り組んでいます。本号では第3回定例会と決算特別委員会でのいそだの質問をご紹介します。

議会活動報告

9月17日~10月18日 第3回定例会

～いそだ久美子 一般質問～

① 子育て後の女性やフリーランサーの求職支援について

Q 子育てを優先して一度仕事を辞めても、いずれまた働きたいという女性が少なくない。社会復帰しやすいように、子育て中に資格取得や在宅ワークに関する情報配信を区が行ってはどうか。またフリーで働く人と区内企業のマッチングを、区が主導しては?

A 女性の多様な働き方のニーズに合わせ、個別カウンセリングの他SNSやアプリでの情報配信を強化します。また世田谷区では人材マッチングのシステムを持っており、今後更に最適モデルに変え多くの就労につなげていきます。

② 公共施設の使い捨て傘袋を、使い回しタイプに

Q 使い捨て傘袋は区施設で昨年29万1300枚も消費しています。他区で活用が始まっている丈夫な素材の使い回し傘袋を、世田谷区にも導入してはいかがでしょうか?

A プラスチックごみ削減は区の喫緊の課題であり、使い回し傘袋は有効な手段と考えます。関係所管に利点を周知し、切り替えを図っていきたい。



③ 野川流域の豪雨対策強化と調節地計画

Q 年々豪雨対策の必要性が増しているが、川の自然保護と両立できる調節地の計画(東京都管轄)は現在どうなっているのか、東名ジャンクションの外環道上部計画とも併せ教えてください。

A 野川には8区間で調整池の整備の計画があり、本年度東京都は候補地の検討を始めたと聞いています。外環道上部利用計画については区民の憩いの公園、スポーツ施設などの計画があり、調節池を設置するかについては東京都の検討状況を見守っていきます。

10月21日~26日 姉妹都市視察

姉妹都市ウィーン市ドゥブリング区35周年記念事業に、区長とともに議員団として出席、視察。姉妹都市との物産品交流については議会質問にも取り上げました。

※詳しくは裏面をご覧ください。

10月30日~11月1日 西日本会派視察

先進のごみ処理施設・今治市のバリクリーン、4月にリニューアルオープンした広島平和記念資料館、北九州市の児童相談所や福岡市の里親開拓の取組状況などを立憲民主党社会党会派で視察、各地で意見交換を行いました。



いそだ久美子プロフィール

1966年神奈川県生まれ 県立厚木高校、早稲田大学第一文学部卒。
三菱電機株式会社に入社、事務系総合職として勤務。衆議院議員手塚よしお秘書に転身、2019年世田谷区議会議員選挙初当選。労働問題、産業振興、都市計画などに取り組む。

<http://www.isokumi.com>



第3回定例会

～いそだ久美子の決算特別委員会質問 抜粋

※決算特別委員会は、一般質問と違って区との一問一答形式です。やりとりは「世田谷区議会 会議録検索」でぜひご覧ください。

世田谷区議会 会議録

検索

区民生活



設立15年になる「世田谷ものづくり学校」はマスコミにも取り上げられ知名度を上げたが、区内に定着する創業者が少ない。運営方法を見直し、創業支援施設としての役割重視にシフトすべきでは？

世田谷ものづくり学校



都市整備



●6月の定例会で質問した、バス・ロケーションシステム設置のその後の進捗状況について聞く。また東京都の施策でバス停留所の屋根に太陽光パネルを設置し災害時の電源供給が出来るシステムに補助金がつく。世田谷区も応募してはどうか？

●ヒートアイランド現象抑制、みどり率向上のために駐車場緑化の更なる推進を。公共施設だけでなく、個人宅への助成も要望する。

バス・ロケーションシステム▶



駐車場緑化の例(代田区民センター)

文教



●姉妹都市であるウィーン(奥)、ウィニペグ(加)、バンバリー(豪)に世田谷区から小中学生を派遣する交流事業があるが、もっと身近であるアジア地域との交流も進めるべきではないか？

●学校教員の多忙が問題視されている今、事務専門の職員を学校に配置してはどうか。さらに、子育てが一段落した女性や定年後の男性を学校事務職員として雇用してはどうか？

姉妹都市

ウィーン市ドゥブリング区視察に参加して



議員になり1年目にして海外視察メンバーに加えて頂きました。ウィーンの様々な教育施設を見学、同時期に現地入りしていた世田谷区小学5年生派遣団の様子を見たり、特産品白ワインの醸造所、歴史的建造物を生かし自然との調和を重視した都市計画の説明を受けたり…。芸術と自然と食



ワイン醸造所

文化を愛するウィーンの気質に触れ、どこか世田谷に似ているとも感じました。

印象に残ったのは、14歳で入学する職業訓練校で生徒たちが意欲的に実習していた姿。早くからプロを志し、好きな道に進む選択肢は今の日本の学校制度にもつ

と取り入れてもよいのではないかと。一方で、ウィーンもまた地球温暖化の影響を受け、エアコン設備刷新を急ぎ、石貼りから芝の庭園へ改築している様子も見られました。



▲ホテル観光専門学校の生徒たち
木造高層ビルHoHo▶



ぶどう畑



より多くの方に姉妹都市交流を知って頂くためにはまず物産交流を、例えばドゥブリング区の白ワインを世田谷区民まつりに出品したり、世田谷の物産をウィーンに紹介するなど可能性を探ってみたいと思います。



ウィーン市庁舎中庭



ドゥブリング区役所訪問



ウィーン都市計画

皆様のご意見、ご質問もお待ちしております。下記までお寄せください。

いそだ久美子事務所

〒157-0066 世田谷区成城 6-16-12 成城島田マンション303室

TEL: 070-4075-6458 E-mail: office@isokumi.com http://www.isokumi.com

事務を手伝って
くださる女性(パート)
募集中!